

いよいよ年の瀬を迎えられて皆様にはお忙しい毎日をお元気にてお過ごしのことと存じます。今年もまた、いつまで続くかと思われる空白の20数年のデフレ不況の中で皆様のご苦労も多かったと存じますが、皆様方が力を合せ、智慧を出し合って、このまちを守ってくださったお蔭で無事大過なく年を越せそうであります。

改めて深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

先日、或る会員店の〇周年記念のお祝いに招かれた席上で、葛西在住のプロ歌手が出演されて冒頭「私は仕事柄各地にお邪魔いたしておりますが、このまちは元気の良いまちですね…」と言われました。私も、この通信に「きみつは元気なよいまちと言われます」と書いてまいりましたが巷間の評判をこの歌手が証明してくれた思いでありました。

今年も女性会の方達はよく活動して下さり「グリーンカーテンプロジェクト」は全国優秀賞の表彰を受けられ、全国に君津商工会議所の名を広めてくれました。青年部も会員60名となり、ブランド商品の開発に積極的な素早い決断、実行をされて、多くの人達にやる気と勇気を与えてくれました。

会議所は、商店会、部会、委員会の活動が中心であります。福利厚生、催事、研修等それぞれの組織の特性、役目を活かして市民からも好評を頂き大きな支持を頂いて参りました。ご苦労様でした。次に迎える年は、政権も変わり、経済の浮揚策が最優先され、インフレ目標2%となっております。中小企業も一般市民もややインフレの方が生き易いものです。むしろ4%位まであげたいものだと願っております。人口増を望む声が多く聞かれますが、先日の千葉銀の調査ですと四市は2040年には凡そ2万数千人減少であります。住民の移動傾向の一つに、老後の社会保障に対する不安感があります。将来、社会保障能力は、30万人都市以上とデータが示しております関係が、大都市へと移動の傾向が多く見られます。きみつ四市合併の必要性の遠因の一つでもあります。君津市は法人市民税が30億円余りも減少しました。市長さんをはじめとして議員、職員の方達も減給されて財政の健全化に努めており、次年度は厳しい行財政改革、合理化が急がれると思われます。改革による合理化は、時には市民サービスを低下させる危険性があります。1%支援事業はこうした時代を見越した先見性の高い政策であります。皆様も是非、大いに活用して頂きたい。

なお、来年度について申し上げたいことは、昨年は世界の政体を変え、様々な選挙が行われました。アメリカ、ロシア、韓国、台湾、中国、日本、フランス等多くの指導者が変わりました。その選挙の対立の争点はグローバリズム（市場経済主義）対地方経済との格差でありました。

分かりやすく言えばグローバリズムが巨大化したために政治や行政がコントロールできなくなり地方経済、産業を大きく衰退させております。韓国の大統領選でもグローバル大企業と中小企業との格差是正・制限が大きな争点でありました。市場経済戦争では、自由経済の名のもとに公然とすべてを奪い取って行き、競争社会においては負けた方が悪いと言う論理に…弱肉強食によって地方経済が潰滅させてはならないからであります。小さく弱い者たちが集まり力を合わせて共に生きていく会議所であります。新たな年がより豊かで、希望の持てる年であります様祈念して、年末の御挨拶とさせていただきます。

伝言：大晦日には亀山の「幸運の鐘」にて、火炊き、ライトアップしてお待ちしております・・・と！